

子どもの遊び場 ニュース 4

2018年11月発行 問い合わせ：広川町建設課 0943-32-1157

プログラム

1. 開会
2. 実証実験
3. 遊ぶ力について
4. ヒロチル4
5. 閉会

10月14日17時から藍彩市場で、13人の委員とその家族、久留米大の先生に集まっていただき「チルドレンズパークワークショップ4」を開催しました。

9月30日に開催するはずだった「広川チルドレンズパーク（ヒロチル）3」が中止になったため急ぎで開催したワークショップ4は、ヒロチル3で予定していた遊びを実践してみました。後半は懇親会を行い、秋の夜長を楽しみました。

「ヒロチル3」で企画していた3種類の遊びを実施し、次回に向けて検証しました。

●トランポリン・竹のボール流し・ストラックアウト

「ヒロチル3」で予定していたトランポリン・そうめん流し風〇〇流し・水風船ストラックアウトなど3つのプログラムを実施し、委員のお子さん達と一緒に遊んでみました。

トランポリンは第1回から実施しているプログラムですが、いつも大人気！子ども達もだんだん上手になって来たようです。そうめん流し風〇〇流しは大小のビクリボールを流しスプーンや箸ですくいました。水の流れは思ったより速いのですが、子どもたちはその難しさにチャレンジして楽しんでいました。水風船ストラックアウトは、投げる大人用と転がす子ども用の2種類を準備しました。水風船の狙いを定めて投げる、ボードが落ちる、水風船が割れる、ドキドキするという水風船だからこそそのワクワクドキドキを楽しみました。30分ほどで、300個の水風船を使いました。



久留米大学人間健康学部満園教授に「遊ぶ力」について、お話をして頂きました。

●久留米大学の先生との連携

広川町では久留米大学人間健康学部の満園先生・野田先生・鍋谷先生と連携して「子どもの遊び場づくり」に取り組みます。今回は、満園先生から大学生の体力の低下の実態、遊ぶ力による体力づくりについてお話をいただきました。遊びの中には様々な運動機能を高める動作が含まれていて、遊ぶ力を高めることは体力向上だけでなく運動能力も高めるようです。久留米大学の先生方には「子どもの遊び場予定地」や「グリーパーク」を見ていただき、プラン構想や今後の運営についてご意見を伺いました。



遊びの実証実験を検証し、ヒロチル4のプログラムについて考えました。

●ヒロチル4の骨格プラン作り

ヒロチル4の開催予定日12月16日の主要なプログラムを検討した結果、昔遊びのプログラムを追加することになりました。その後、水を使うそうめん流し風〇〇流し・水風船ストラックアウトが12月のヒロチル4で実施可能か考えました。子どもたちはとても楽しそうだったので、チラシに着替えの持参について明記する事、濡れないように遊び方を工夫して実施することになりました。また、駐車場の場所や台数なども安全で便利のように再検討することになりました。最後に各委員が応援団の参加を確認し、結果をチラシに掲載することにしました。

初めての懇親会、家族や子どもたちも一緒に楽しい時間を過ごしました。

懇親会はまちこカフェの皆さんにご協力いただき、飲食を準備していただきました。初めての懇親会で、家族同士、家族と家族のきずなが深まり、和気あいあいと楽しく歓談しました。

